

Partner

パートナー Vol. 51 2016.9 蕨市

蕨市男女共同参画情報紙

パートナーとは…
女性と男性が共に明るい地域
社会を築き上げようという意
味と、市民の皆さんと市が共
に手をたずさえていこうとい
う願いが込められています。

これがデート
DVなの？

特集

デートDV

DVは若者の間でもおきている

Q1

私のカレシは、キレると暴
力を振るうことがあります。
「お前がオレを怒らせてるん
だ」と言われる
のですが、ほん
とに私が悪いの
かな…。



Q2

カノジョはすごいやきもち焼
きで、携帯をいつもチェック
するんです。この前、女友だ
ちとLINEし
たら、他の女の子
の連絡先も全部消
去されました。



Q3

会うたびに性的行為を強要さ
れます。イヤって言うと怒り
出すし…。どうしたらいい？



あなたはどうか？ デートDV危険度チェック

- 殴ったり蹴ったり、物を投げつけたりされる
- バカにされたり、大声でどなられる
- 気に入らないことがあると、すぐに不機嫌になる
- 異性の友だちと話すのを嫌がり束縛する
- メールやLINE をすぐに返さないと怒る
- メールやLINE をチェックして勝手に削除される
- 嫌がっているのに性的行為を無理強いされる
- デートの時にいつもお金を払わされる
- いつも「お前のせいだ、お前が悪い」と言われる
- いつも相手を怒らせないよう気を使っている
- 相手が怖いと思うことがある
- 別れたいのに別れてくれない



デートDVとは？

デートDVとは交際相手からの暴力のことを言い、殴るなどの身体的暴力だけでなく、精神的暴力など様々な種類の暴力があります。“女性は男性に従うべき”という考え方や束縛を愛情だとする価値観、暴力容認の考えなどが背景にあります。ケンカとの違いは、繰り返し行われることと、加害者と被害者が固定化されることです。どのような暴力があるのかを知るとともに、デートDVがなくなるにはどうしたらよいか「デートDVの関係」と「対等な関係」の場合を比べて考えてみましょう。

表紙のQ1～3の答えです。

A1 身体的暴力です。

殴る、平手でたたく、蹴る、物を投げつける、突き飛ばしたり壁にたたきつけたりするなど体に直接危害を加える暴力を身体的暴力と言います。暴力は、相手に言うことを聞かせるために行われ、加害者側は「オレを怒らせるお前が悪い」など暴力を正当化し、逆に被害者を責めたりします。

A2 精神的暴力です。

被害者の意思に反して常に携帯をチェックしたりするのは、やきもちと言うよりも束縛や監視です。特に、友だちとの付き合いを制限するなどの場合は、**社会的暴力**とも言います。デートDVは男性から女性への暴力が多いのですが、このケースのように女性が加害者になることもあります。

A3 性的暴力です。

たとえ恋人同士でも、相手の気持ちを無視して性的行為を強要したり、避妊をしないことは、性的暴力となります。性的暴力の被害者のほとんどは女性であり、体や心だけでなく、人間としての尊厳をも傷つける暴力と言えます。

この他に、いつも相手にお金を出させ、経済的な負担を強いるといった**経済的暴力**などもあります。

彼：明日、映画に行こうぜ。観たいホラー映画があるんだ。
 彼女：ごめん…、明日は友だちと約束があって…。
 彼：はぁ？ なにお前、オレより友だちの方が大事なのかよ。
 彼女：そんなことはないけど……。
 彼：そうじゃねえかよ。断れよ！
 彼女：えーでも一、ずっと前から約束してたから。
 彼：ふざけんな！もういいっ。勝手にしろ！！
 彼女：分かった。…断るよ。
 彼：なんだよ、はじめからそうすりゃいいんだよ。
 彼女：…でも、ホラー映画苦手なんだよね。
 彼：はぁ？超、話題作だぜ？
 彼女：うん、知ってるけど…。
 彼：あー気分悪い！やっぱお前となんか行かぬー！このバカ女！

デートDV関係



対等な関係



彼：明日、映画に行こうぜ。観たいホラー映画があるんだ。
 彼女：ごめん…、明日は友だちと約束があって…。
 彼：ええ？そうなの？
 彼女：うん。ホントごめんね。別の日に行こうよ。
 彼：でもこの映画、明日までなんだよ。友だちとの約束断れない？
 彼女：えーでも一、ずっと前から約束してたから。
 彼：そっかあ。じゃあ、オレーンで行ってくるわ。
 彼女：うん。じゃあまた今度、ほかの映画観に行こうね。
 彼：OK、分かった。なに観に行く？
 彼女：私、ホラー映画苦手だから…。恋愛映画とかどう？
 彼：恋愛映画は興味ないなー。
 彼女：うーん、じゃあ、あの話題のアニメ映画は？
 彼：あっ、いいね～。それ俺も観たかった！来週行こうか？

「一方的に言うことを聞かせようとする関係」 ⇨ 目指すのは ⇨ 「お互いを尊重した対等な関係」

市内公立全中学校で「デートDV防止講演会」を実施

昨年度、協働提案事業として蕨市男女平等推進市民会議と市（学校教育課、市民活動推進室）は、「デートDV防止講演会」を市内全中学校で実施しました。NPO法人湘南DVサポートセンターの瀧田信之氏を講師に、デートDVについての理解を深めました。今年度も実施する予定です。

蕨市立第一中学校
 日時：平成27年7月15日（水）
 対象：2年生 192名及び保護者

蕨市立東中学校
 日時：平成28年2月15日（月）
 対象：2年生 138名及び保護者

蕨市立第二中学校
 日時：平成28年2月23日（火）
 対象：3年生 155名



生徒の感想

2年女子 デートDVとはどのようなものなのか全く知らなかったのが、分かって良かったです。精神的な暴力など5種類も暴力があるということを知りました。相手を信頼し、尊重することは友達の間でも大切なことだと思うので、自分のこととして考えようと思います。また、このようなことで困っている人がいたら、相談にのってあげたいと思います。私は怒りっぽい性格なので、常に相手が傷つくか、傷つかないかを考えて行動するようにしたいです。SNSなどを通しての信頼関係は崩れやすいものだと思うので、大切なことは直接言いたいと思います。

2年男子 今日の“デートDV防止講演会”を聞いて、DVは絶対してはいけないことだと分かった。男女が平等であることは、当たり前のことだと思うので、相手や相手の意見を尊重することが大切だと思った。これからも男女問わず、きちんと接していきたいなと思いました。

蕨市成年式や公共施設で「デートDV防止ハンドブック」を配布

ストーリーまんがで分かりやすく「デートDV」について学べるハンドブックです。下のQRコードを読み取ると携帯やスマホから読むこともできます。ぜひご覧ください。

QRコード→



「デートDV出前講座」を実施

蕨市では、今年の7月に、武南学園武南中学校の1年生と3年生を対象に、市職員による出前講座を実施しました。この講座は、デートDV防止ハンドブックを使い、みんなで考える講座です。出前講座を希望される団体は、お気軽に市民活動推進室までお問い合わせください。（TEL048-433-7745）

友だちや子どもから 相談を受けたらどうしたらいい？

まずは話をじっくり聞きましょう。被害を受けた方を批判したり、暴力を容認したりせず、ありのままを受け入れてください。そして専門の相談先（下記）の情報を提供してあげましょう。

こんな言葉かけはNG⇒「相手の言い分も聞いてみないと」「あなたにも悪いところがあるんじゃない？」「愛されている証拠よ」

ご相談ください

デートDVの相談もできます

相談無料

DV相談

蕨市配偶者暴力相談支援センター

【相談日時】

月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）

8時30分～17時15分

※火・木の9時～17時は女性相談員が対応

【電話】048-433-7745

《予約はいりません》

ともに歩むパートナーとの関係は、健全な社会づくりと個人や家族の幸福に関わる重要な問題です。DVは、そのパートナーから受ける“暴力”という印象が強いのですが、実は、時間的拘束、威嚇や強制、自尊心を否定する暴言の投げかけや無視、価値の押しつけ、経済的威嚇、心理的な攻撃が、パートナーとの間にパワーとして存在していることです。「なぜこんなに苦しいんだろう」と思う日々が続いているなら、悩みを自分一人のものにせず、左記の「DV相談」までご連絡ください。ご相談の内容は固く守られます。

蕨市配偶者暴力相談支援センター女性相談員



女性の心と生き方相談

仕事のこと家庭のこと親子関係など、どんなことでも相談できます。

【相談日時】

第1～4金曜日 13時15分～16時05分

【相談員】フェミニストカウンセラー

【電話】048-433-7745 《予約制》

こんなときは警察へ相談

付き合っていた頃に撮った裸の写真をネット上にばらまかれた（リベンジポルノ）り、別れた相手から復縁を迫られ、つきまとわれている

これは **ストーカー被害** です

蕨警察署 048-444-0110

第8回 イクメン・料理男子フォトコンテスト作品募集

【イクメン部門】育児を楽しむ父親（祖父）と子どもの写真&エピソード ※イクジイの応募大歓迎！

【料理男子部門】料理をする男性の写真&エピソード

応募期間 平成28年9月30日（金）必着

応募資格 蕨市内に在住または在勤の方、協賛・協力企業の方

応募方法 (1) 2L判サイズ（127mm×178mm）の写真で応募 (2) 400万画素以上の写真データで応募

応募先 市民活動推進室 ☆詳しくは蕨市ホームページをご確認ください。 **蕨市イクメン** で検索☆



— 編集後記 —

「DV」という言葉は広く知られるようになりましたが「デートDV」はまだまだ知られていません。今回の特集を通じて、交際相手からの暴力の防止とともに、将来のDVの予防のためにも、若い人たちに「相手を尊重した対等な関係」の大切さを理解してもらいたいですね。

パートナー第51号

2016年9月1日発行

企画編集 パートナー編集委員 蕨市市民生活部市民活動推進室

編集委員 阿部三恵子 加藤光男 蔵迫祥子 杉山節子 新妻朋子

イラスト 馬場瑞穂

〒335-8501 蕨市中央5-14-15 電話 048-433-7745

Eメール siminsit@city.warabi.saitama.jp

☆ただいまパートナー編集委員募集中です。興味のある方は、ぜひ市民活動推進室までご連絡ください。